



令和6年度 ソーシャルワーク実習生のみなさん

赤い羽根共同募金運動がはじまりました!!

【特集】
4・5ページ

- ◆ リポート地域活動「神明住宅自治会 さくらんぼの会」／「山川ゆうあい」 P2
- ◆ 魚住東中学校区で「ふれあい会食」がはじまりました！ P2
- ◆ 第16回 あかしボランティアフェスタ 11月2日（土）に開催！ P3
- ◆ みなさまの善意に感謝します!! 善意銀行 P3
- ◆ **【特集】あかしのまちを良くするしくみ 赤い羽根共同募金** P4・P5
- ◆ 地域総合支援センターからのお知らせ
にしあかし総合支援センター / おおくぼ総合支援センター P6
- ◆ お待ちしています!! あなたの認知症川柳 ～「私、認知症です」と言えるまちへ～ P7
- ◆ 「地域活動支援センター教室」見学月間 P7
- ◆ あかし社協情報アラカルト
「終活専門相談」を開催しています! /
障がい福祉事業所自主製品販売のお知らせ / 職員募集情報 /
ボランティア養成講座のごあんない 手話 / 要約筆記 P8

も
く
じ

◎ 気象警報の発令などにより、行事・イベントなどが中止・変更になることがあります。事前にお問い合わせください。



この『あかしの社会福祉』は、赤い羽根共同募金配分金により発行しています。

★広報紙をご入用の方はお気軽に

明石市社会福祉協議会 法人運営課

☎924-9105 FAX 924-9109 ✉daihyo@akashi-shakyo.jp までご連絡ください。

明石市社会福祉協議会

検索



◎ 各地域総合支援センター、市民センター、サービスコーナー、コミュニティ・センターなどにも設置しています。ホームページからもご覧いただけます。
◎ 市外または携帯電話からのお電話・FAXの送信は、市外局番(078)からおかけください。

レポート地域活動

神明住宅自治会 さくらんぼの会

～ そのうちみんな老いていく。

いつまでも参加できる場所でありたい ～

「さくらんぼの会」は、地域に特化した集いの場をつくりたいとの想いから立ちあげられました。10年経過した今、神明ふれあい会館では、毎週にぎやかな声が響いています。

40人が集まる「ふれあい喫茶(サロン)」、練習半分おしゃべり半分「ハンドベル」、頭と指先運動の「折り紙」、筋肉維持の「体操」、意外と真面目に「一笔画」…と、様々な活動がおこなわれ、自治会の住民のみなさんの集いの場として役立っています。

認知症の勉強会を開いて、「いつまでも役割を持って参加できる場所でありたい」と、日々パワフルに活動されている「さくらんぼの会」さん。高齢者だけでなく多世代も巻き込んで発展中です！



山川ゆうあい

～ 誰もが集いやすい居場所をつくろう ～

18年前、当時自治会長だった木下さんは、「山川地区に住むみなさんが、顔見知りになり笑顔あふれる町にしよう」と、仲間と力を合わせ、「山川ゆうあい」をスタートさせました。

木下さんは、86歳となっても、今も変わらずに足を運び、みなさんの笑顔の中心におられます。

「山川ゆうあい」では、手づくりのお食事を味わい、目で楽しみ、温かい雰囲気の中、みなさんの笑顔が素敵な居場所となっています。

お食事は、ボランティアメンバーさんが愛情いっぱいに栄養と見た目にとこだわり、つくられています！



魚住東中学校区で「ふれあい会食」がはじまりました！

令和6年6月12日に、「清水ケ丘自治会館」と「鈴谷住宅自治会館」の2か所で、一人暮らし高齢者の閉じこもり予防や、孤食予防を目的とした「ふれあい会食」がはじまりました。

1か月に2回のふれあい会食ですが、参加されたみなさんが楽しそうに談笑され、スタッフのみなさんも「やって良かった」と喜ばれていました。

これからも、各地で開催されている会食が、「居場所」の一つとして定着し、『ふれあい』あふれる事業となるよう、応援していきます！



第16回 あかしボランティアフェスタ

令和6年11月2日(土)

10時～15時(予定)

明石市立総合福祉センターにて



地域みなさんと
一緒に楽しみましょう!!

- ★ フード・カフェコーナー
 - ★ 赤い羽根共同募金啓発コーナー
 - ★ ボランティアグループのみなさんによる多彩な発表
 - ★ 陶芸教室体験コーナー
(地域活動支援センター体験教室)
- など

※駐車場はありませんので、
お近くのコインパーキングを
ご利用ください。

みなさまの善意に感謝します!!

善意銀行

令和6年7月～8月(預託日順)

金銭預託

計3名(70,100円) ● 夢楽染 かずの明石店 ● 匿名 2名

物品預託

計13名 お米、食料品、日用品、介護用品、こども用品 など

- KOHYO 明舞店 様
- 株式会社 四国銀行 様 (兵庫県社会福祉協議会善意銀行を通じてご寄付いただきました。)
- ニュークリエーションセンター 明石教会 様
- ヒラキ株式会社 岩岡店 防犯室 水元 一樹 様
- 株式会社 リセーブ 様 ● 生活協同組合 コープこうべ 様
- 株式会社 元林 様 ● 谷 和実 様 ● 匿名 5名



谷 和実様(左)より

物品払出

計5件



お米や食料品、体温計の寄付を受けた団体の
みなさんより、お礼の写真が届きました。



寄付時の
写真はコチラ

問合せ

地域支援課 ☎924-9105 FAX924-9109

～ あかしのまちを良くするしくみ ～



令和6年

赤い羽根 共同募金

明石市共同募金委員会では、募金活動に親しんでいただくため「オリジナルピンバッジ」を初めてつくりました。

このバッジは、「時のまち・明石」のシンボルである明石市立天文科学館と赤い羽根をモチーフに構成しています。

また、視覚で認識することができない人に対しては、エンブレムが指で識別できるよう工夫しています。



使いみちの一例

江井島の海と子どもを守る会 海岸清掃活動と地引網

江井島海岸の清掃をおこない、その後、江井ヶ島漁業協同組合の協力のもと、地引網を引っ張り、獲れた魚について須磨海浜水族園の方に解説してもらいました。海岸のごみ問題や環境保全について興味関心を持ってもらうとともに、貴重な海の恵みを多くの方々に気づいてもらうことができました。また、毎月おこなっている江井島海岸の清掃活動への参加者が増えました。

共同募金からの配分が事業実施の後押しとなっており、募金への協力者と公募配分事業に感謝しています。

海岸清掃活動の様子▶



地引網の様子▶



赤い羽根共同募金の使いみち

明石市社会福祉協議会への配分 **9,988,630円**

▶ 明石市内の福祉団体の活動支援 **2,295,000円**

高齢者福祉

連合まちづくり協議会、高年クラブ連合会の活動を支援しています。



障がい児・者福祉

障がい者施設や当事者の会の活動を支援しています。研修会、交流会、慰問事業などにかかる費用の一部を助成しています。



住民福祉

■ 民生児童委員協議会の活動支援
地域福祉を推進する民生児童委員協議会の活動を支援しています。

■ 更生保護の推進

更生保護を目的とした保護司会や更生保護女性会、社会を明るくする運動などの活動を支援しています。

児童・青少年福祉

保育施設などが実施する事業の費用の一部を助成しています。

地域での啓発活動の様子



▶ 地区社会福祉協議会の活動支援
3,472,802円

市内23地区で地区社会福祉協議会(地区社協)がおこなう地域福祉活動を支援しています。

(使いみちの一例) 福祉体験会、ボランティア団体活動助成、ふれあい会食など

▶ ふれあい訪問・サロン活動支援
1,454,000円

高齢の方や障がいのある方などの閉じてもりや孤立を防ぐため、ふれあい訪問活動を支援しています。

また、世代を問わず、「無理なく」「気軽に」身近な場所に集えるよう実施している居場所活動(サロン)の支援をおこなっています。

▶ 公募配分事業 240,000円

福祉団体・ボランティアグループ、自治会・町内会、福祉施設などがおこなう事業に対して、費用の一部を助成しています。広く公平に支援が行き渡るよう、公募により実施しています。
※ 助成については、地域の代表者により構成されている募金等配分検討委員会において、審議決定しています。

▶ 情報発信推進 1,792,405円

明石市社会福祉協議会の広報紙「あかしの社会福祉」の発行やホームページ運営をおこない、市民にとって必要な福祉情報を届けています。

ボランティア活動に係る広報活動に活用しています。



▶ 認知症当事者等集いの場運営事業 150,000円

認知症の方やそのご家族が昼食やレクリエーションを通して楽しいひとときを過ごす「集いの場」の運営を応援しています。

▶ こども版公募配分事業 90,000円

小学校・中学校・養護学校・高等学校に通うこどもたちが共同募金の使いみちを考え、学校を通して公募申請をおこなうことができる取り組みです。共同募金を知ってもらうとともに、児童・生徒の福祉に対する意識を高める機会となりました。

（使いみちの一例）児童会や委員会活動報告のための配信用資材の購入など



兵庫県共同募金会
マスコット
「あかはねちゃん」

▶ 車いす貸出事業・福祉機器リサイクル事業 272,366円

一時的に車いすが必要な方に対して、コミュニティー・センターや自治会館、総合福祉センターで貸出をおこなっています。また、不用となった福祉機器や車いすなどをボランティアの協力により点検整備し、必要とされる方におよづりしています。

（使いみちの一例）設置用車いすの購入、ボランティアによるリサイクル品、車いすの点検整備費用など。



▶ 福祉学習推進事業 164,472円

地域住民や児童に対して、点字・手話・車いすなどの体験学習を実施しています。地区社会福祉協議会が主催する福祉学習に係る費用の一部を助成しています。

▶ 事務費 57,585円

振込手数料や郵送代等に活用しました。

歳末たすけあい募金の使いみち

令和5年度にご協力いただいた歳末たすけあい募金を活用した事業をご紹介します。

▶ 施設・団体等交流支援 2,164,984円

地域での見守りが必要な世帯への訪問事業や歳末期におこなう地域や施設での交流事業などの支援をおこないました。

（使いみちの一例）

友愛訪問

一人暮らしの高齢者や支援が必要なみなさんへの見守りと安否確認を兼ねて、手づくりの品やメッセージカードなどを添えて、ご自宅を訪問しました。訪問した多くのみなさんから、感謝の声をいただきました。

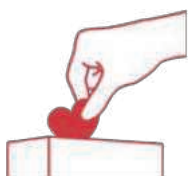


交流事業

認知症とボランティアのみなさんとで、クリスマスの交流会を実施しました。参加されたみなさんは、会の開催を大変喜ばれました。



ボランティアグループが点字カレンダーを製作し、必要とする方へお渡ししました。受け取られた方々にとても喜ばれ、製作にたずさわったみなさんも温かい気持ちになりました。



インターネットでも募金できます。

赤い羽根

検索

<https://www.akaihane.or.jp/furusapo/>

*「寄付する」ボタンを押して、都道府県・市町村を選択し、必要事項をご記入ください。



地域総合支援センターからのお知らせ

にしあかし総合支援センター

にしあかし総合支援センターでは、誰もが安心して生活できる地域づくりを目指すために、多世代の住民に向けて、認知症の方の理解促進の取り組みをすすめています。

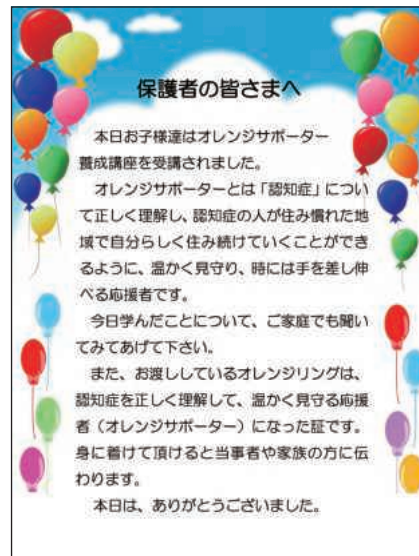
7月には、花園小学校、鳥羽小学校の4年生を対象に、認知症の人の応援者である「オレンジサポーター養成講座」を開催しました。

なかには、70歳以上の高齢の方と交流する機会が少ない児童もあり、認知症の症状だけでなく、高齢者の身体の変化についても説明し、花園小学校ではDVD教材、鳥羽小学校では寸劇を通して、認知症の人への対応を学んでもらいました。

講座を受けた児童たちには、保護者のみなさんと認知症についての学びを共有してもらえよう「保護者の方へ」のお手紙を手渡しています。このような取り組みをとおして、認知症になっても住みやすい地域づくりにつながるよう活動を続けていきます。



認知症サポーターキャラバン
マスコット「ロバ隊長」



おおくぼ総合支援センター

おおくぼ総合支援センターが担当する、大久保、大久保北、江井島、高丘の4中学校区域では、「フレイル予防」の気運が高まっています。

令和5年度から、江井島中学校区の9か所で「フレイル予防研修会」を開催し、令和6年3月に、市民向けの「フレイルサポーター養成講座」を、7月には、大久保中学校区で「フレイル予防研修会」を開催しました。そして、10月には、高丘中学校区で「フレイルサポーター養成講座」を開催予定です。



高丘地区まちなかゾーン会議 吉田俊一会長が中心となって、『100歳 いきいき元気 あたりまえ!』をスローガンに、まちづくり協議会と、まちなかゾーン会議で、地域を挙げてフレイル予防に取り組んでいます。

フレイルとは 加齢によって心身の機能が低下する状態ですが、**「栄養」「運動」「社会参加」**の3要素を意識することで改善が期待できます!

『地域で支える、地域を支える「フレイル予防」』をおおくぼ総合支援センターは支援しています!
「フレイル」が気になりだしたら、ぜひ、ご相談ください!!

問合せ

地域総合支援センター

あさぎり・おおくら ☎915-0091 FAX 915-0092
きんじょう・きぬがわ ☎915-2631 FAX 915-2632
にしあかし ☎924-9113 FAX 925-2799

おおくぼ ☎934-8986 FAX 934-8987
うおずみ ☎948-5081 FAX 948-5082
ふたみ ☎945-3170 FAX 945-3171

～「私、認知症です」と言えるまちへ～ お待ちしています!! あなたの認知症川柳



「認知症」や「物忘れ」に関するエピソードや、「ふと感じる幸せな気持ち」や「気づき」などを、「5・7・5」の川柳で表現してみませんか?

認知症と診断されている方も、されていない方も、ご家族も、お子様も、どなたでも、ご応募お待ちしております!



応募期間	令和6年10月15日(火)～11月29日(金)	応募数	1人2句まで(自作かつ未発表のもの)
応募資格	市内在住または通勤、通学している方		
応募方法	応募用紙は自由(氏名、ペンネーム、電話番号、年齢を記入してください。) ※ 応募者が18歳以下の場合は、保護者の氏名と連絡先も必要です。 ※ 氏名又はペンネームどちらか一方でも可能です。 ペンネームがある場合は、ペンネームを公表します。 (1) 二次元コードからGoogleフォームにて (2) 郵送 〒673-0037 明石市貴崎1丁目5-13 明石市立総合福祉センター2階 地域総合支援センター本部「川柳」担当あて (3) FAX 078-924-9114 (4) 明石市立総合福祉センター内の回収袋		
作品発表	入賞作品は、令和7年3月以降に、本会ホームページや広報紙等で発表します。		
表彰	「最優秀賞」「優秀賞」「佳作」等の表彰があります。 ※ 発表に際しては、連絡先に連絡します。		
その他	・ 作品は、今後、本会の認知症啓発において使用いたします。(ホームページや広報紙等に個別の同意なく掲載する場合があります。) ・ 作品が他者の著作権やその他の権利を侵害するものであった場合は、応募者がその全ての責任を負うものとします。		



こちらからご応募ください!

問合せ

地域総合支援センター本部

☎924-4501 FAX 924-9114

申し込み不要

11月・12月「地域活動支援センター教室」見学月間

在宅の障がい者のみなさんを対象とした、創作・学習・趣味活動の輪を広げる教室を1年を通して開催しています。「教室に興味はあるけど、1年間通うのはちょっと不安・・・」「家族や友人に勧めたいので、内容を知りたい」というあなた!実際に開催されている教室を見学してみませんか?

11月

	月	火	水	木	金	土
	-	-	-	-	1	2
午前	-	-	-	-	囲碁・オセロ	陶芸
午後	-	-	-	-	-	-
	4	5	6	7	8	
午前	-	書道	生花	-	陶芸	
午後	-	-	体操	-	陶芸	
	11	12	13	14	15	
午前	-	手話	英会話	折り紙細工	絵手紙	
午後	短歌	-	編物	スポーツ	-	
	18	19	20	21	22	
午前	料理	-	-	点字	陶芸	
午後	ウクレレ	-	体操	パソコン中級	陶芸	
	25	26	27	28	29	
午前	料理	手話	刺しゅう	パソコン初級	-	
午後	童謡・唱歌	-	編物	童謡・唱歌	-	

あかし
ボランティア
フェスタ

体験コーナー



◎ 当日は、整理券を配布します。

12月

	月	火	水	木	金
	2	3	4	5	6
午前	料理	書道	生花	点字	囲碁・オセロ
午後	ウクレレ	-	-	パソコン中級	-
	9	10	11	12	13
午前	料理	手話	英会話	折り紙細工	陶芸
午後	短歌	-	編物	スポーツ	陶芸
	16	17	18	19	20
午前	-	-	生花	-	絵手紙
午後	ウクレレ	写真	体操	パソコン中級	-



くわしくは、3ページ

午前の教室 10時00分～12時00分

午後の教室 13時30分～15時30分

※ 都合により、変更又は休止となる場合があります。

問合せ

明石市立総合福祉センター ☎918-5660 FAX 918-5661

あかし社協情報アラカルト

「終活専門相談」を開催しています！

「終活」についてご存じですか？

「終活」とは、「老後などの心配事に備える活動」を略した言葉です。老後の“もしも”の不安、心配事をあらかじめ準備しておくことで、不安が解消され、安心して生活を送ることができます。

終活専門相談では、遺言・遺産相続、成年後見制度、財産管理、葬儀・納骨、家財処分や死後事務委任契約に関する支援などについて、弁護士や司法書士に無料で相談することができます。ぜひ、ご利用ください。

■終活に関する相談……第1～3火曜日

■後見・相続遺言などに
関する相談……………第1～4木曜日

13時30分～15時30分 ※祝日・年末年始を除く。

問合せ 明石市後見支援センター ☎924-9151 FAX 924-9134

障がい福祉事業所自主製品販売のおしらせ

明石市立総合福祉センター 月～金曜日 11時00分～13時00分(売切れ次第終了) ※祝日・年末年始を除く。

販 売 品 目	場 所	販 売 団 体
弁当、パン、 クッキー、 ケーキ、雑貨 など	1階ロビー	・きっちんそら・木の根学園・こぐまくらぶ ・にじ作業所 パン工場なないろ ・LOVE&PEACE
パン、クッキー、 ケーキ など	新館2階 軽食・喫茶 なかま	きっちんそら

くわしくは
コチラ

※ 販売団体等の都合により、販売日時及び販売品目が変更又は休止となることがあります。

(令和6年9月末日現在)

問合せ 明石市立総合福祉センター ☎918-5660 FAX 918-5661

職員募集情報

人物重視 面接のみ

常勤契約職員(令和6年9月末日現在)

募集職種 介護予防支援ケアマネジメント専任者

必要資格 以下いずれかの資格が必要

介護支援専門員・主任介護支援専門員・社会福祉士
保健師・看護師 ※看護師については要件あり入 職 日 応相談
(試用期間2か月)

試 験 日 随時実施します

給 与 等 月額 226,390円 ※各種保険加入

勤 務 地 地域総合支援センター(市内6か所)

勤務時間 8時55分～17時40分(休憩1時間)

年間休日 129日(土・日・祝および夏季休暇6日)

そ の 他 非常勤職員・パート職員も募集しています。
くわしくは、お問い合わせください。問 合 せ 地域総合支援センター 本部
電話 924-4501 FAX 924-9114さまざまな専門職と協働し、
力が発揮できる業務です！くわしくは、本会ホームページの
「採用情報」をご覧ください ▶

ボランティア養成講座のごあんない

養成講座名	手 話	要 約 筆 記
内 容	コミュニケーション方法のひとつである手話を体験し、聴覚障がいへの理解を深めます。	聴覚障がいへの理解を深めるとともに、その場で音声文字にして情報を提供するコミュニケーション技術学びます。
開催日程	11月ごろ(予定) 全4回	令和7年 ①2月7日(金) ②2月14日(金) ③2月21日(金) ④2月28日(金) 全4回
場 所	ふれあいプラザあかし西	明石市立 総合福祉センター

開催時期のおおむね
1か月前より、「本会
ホームページ」・「広報
あかし」にて、お知らせ
いたします。問合せ 地域支援課
☎924-9105 FAX 924-9109